



中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館

第44回中原悌二郎賞



背景：(太陽のふね トローリング) 藤原千也 撮影 / MINOURA Nobuo

贈呈式・記念講演

2025年

11月23日(日・祝)

15:00 ~ 17:00

会場 旭川市大雪クリスタルホール
国際会議場 大会議室

(旭川市神楽3条7丁目)

内容 (1) 贈呈式 15:00 ~ 15:30
(2) 記念講演 15:40 ~ 17:00

「生まれようとしたときの光を見たい」

講演者：藤原千也氏(第44回中原悌二郎賞受賞者)

佐藤友哉氏(中原悌二郎賞選考委員、元札幌芸術の森美術館長)

定員 120名 参加無料

主催 旭川市・旭川市教育委員会



第44回中原悌二郎賞贈呈作品
作品名 太陽のふね
作者 藤原千也
制作年 2024
素材 カラマツ等
発表 札幌芸術の森美術館
撮影 INOUE Koji



藤原千也氏
撮影 MINOURA Nobuo

作品お披露目会・ギャラリートーク

2025年

11月24日(月・振休) 10:00 ~ 11:00

申し込み 申込フォームまたは
電話、来館
当日まで申し込み可



制作中

場所 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館 本館
(旭川市春光5条7丁目)

定員 30名 参加無料 (別途、美術館観覧料が必要です)

内容 第44回中原悌二郎賞受賞作品の代替作品として、旭川市彫刻美術館が収蔵する新作を作者の解説付きでお披露目いたします。

また、削岩機(電動ハンマー)で木を割る簡単な制作体験会を併せて実施予定です。

※体験会は天候により中止となる場合がございます。



お問い合わせ

中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
☎ 0166-46-6277
メール sculpture_mus@city.asahikawa.lg.jp
HP <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/sculpture>

ご利用案内
開館時間◆午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日◆毎週月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)
観覧料◆一般/450円、高校生/300円、中学生以下無料
※料金には常設展観覧料を含む。各種減免規定あり。



彫刻美術館ホームページ

- 1978 北海道札幌市南区真駒内に生まれる。
- 2002 大阪芸術大学美術学部立体造形学科卒業
和歌山県高野町森林組合に入社（～2004年）
- 2006 紋別養護学校きたみ学園分校（現・北海道北見支援学校）に勤務（～2011年）
- 2008 第83回道展（北海道美術協会）入選
- 2010 個展「ひらかれている」（FLOWMOTION／帯広市）
- 2011 個展「ひとつの中心と呼吸する」（ギャラリーとかるね／豊頃町）
北海道中札内高等養護学校に転勤
個展「藤原千也展ひとりのひとにひとつづつ」（北網圏北見文化センター美術館／北見市）
- 2013 「道東アートファイル 2013 in the LIGHT / in the SHADOW」
（北海道立帯広美術館／帯広市）
- 2014 「防風林アートプロジェクト 2013-14」帯広市の郊外、防風林の中でインスタレーション
（帯広市）
「モケラモケラ企画若手作家シリーズ1からすと山羊と鉛 見上げれば空展」（Art Space / café MOKERA MOKERA／旭川市）
- 2015 「The open plane」～十勝の明日（帯広市）
- 2017 「ひかりの抜け道」（大丸藤井セントラル／札幌市）
- 2018 北海道教育大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 美術教育専修空間造形研究室 修了
「藤原千也 オープンアトリエ 中札内村 2018」（藤原千也のアトリエ／中札内村）
- 2019 「第38回帯広市民芸術祭 招待作家展／藤原千也展 - ふたたび生成のうちに -」
（帯広市民ギャラリー／帯広市）
「はこだてトリエンナーレ／藤原千也展 - 光景 -」（木古内町郷土資料館／木古内町）
「JRタワー アートボックス」（JR札幌駅／札幌市）
「松本 道子 × 藤原 千也 ダンスと彫刻のコラボレーション」（藤原千也のアトリエ／中札内村）
- 2020 第23回岡本太郎現代芸術賞 特別賞 受賞
「第23回岡本太郎現代芸術賞展」（川崎市岡本太郎美術館／神奈川県川崎市）
「彫刻家 藤原千也 特別企画展」（中札内文化創造センター／中札内村）
十勝文化団体協議会 文化奨励賞 受賞
- 2021 「札幌美術展 アフターダーク」（札幌芸術の森美術館／札幌市）
- 2022 「札幌市南区芸術祭」（COみどり・旧真駒内緑小学校／札幌市）
道銀芸術文化奨励賞 受賞
- 2023 第32回道銀芸術文化奨励賞受賞記念「藤原千也展」（らいらっく・ぎやらいり／札幌市）
第4回本郷新記念札幌彫刻賞 受賞
- 2024 中札内村文化奨励賞 受賞
第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品設置（～2027年4月まで）（札幌芸術の森美術館中庭／札幌市）
個展「第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 藤原千也展 生まれようとした時の光をみたい」（本郷新記念札幌彫刻美術館／札幌市）
第53回札幌文化奨励賞 受賞

背景：藤原千也ポートレート 撮影 / MINOURA Nobuo

中原悌二郎賞について

中原悌二郎賞は、日本の近代彫刻史に優れた業績を残した旭川市ゆかりの彫刻家「中原悌二郎」を世間に広く知らせるとともに、日本の彫刻界の発展に貢献する目的で、1970年（昭和45年）に旭川市が開校80周年記念事業の1つとして始めた彫刻の全国賞です。

中原悌二郎は1888（明治21）年に釧路に生まれ、9歳の時に旭川の養父のもとに移り住みます。5年間を旭川で過ごした後、札幌中学校を経て画家を志して上京します。やがて本格的に彫刻制作に取り組みますが、1921（大正10）年、わずか32歳の若さで死去します。現存する作品は12点のみですが、いずれも近代彫刻の歩みを振り返る上で、たいへん重要な作品となっています。旭川市は、1962（昭和37）年から市民の協力も得ながら中原悌二郎作品の収集と保存に努めてきました。

中原悌二郎賞は、国内で発表された日本人作家の彫刻作品のうち、最も優れた作品に中原悌二郎賞を、それに次ぐ作品に中原悌二郎賞優秀賞を贈呈し、これまで43回の実施を数えて参りました。延べ90名の受賞者には、現代日本を代表する彫刻家の方々が名前を連ねており、中原悌二郎賞は国内彫刻界における最高栄誉であるとの評価もいただいています。

歴代の受賞作品（あるいは代替作品）は旭川市が購入し、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館に収蔵するほか、旭川市内の公共空間や公共施設に展示され、優れた彫刻作品に日常的に親しむことのできる環境を形成しています。

なお、中原悌二郎の32年の生涯と同じ32回目の実施を節目として、第33回からは隔年実施のピンナーレ方式へと移行し、第36回からは中原悌二郎賞1点のみに贈呈しています。



第1回中原悌二郎賞贈呈式 1970年 受賞者：木内克

旭川市彫刻美術館本館 中原悌二郎賞 関連展示会のお知らせ

「彫刻家の素描展 2025 中原悌二郎受賞作家による」

彫刻家の素描展
2025
中原悌二郎賞受賞作家による

会期 2025年9月12日（金）～
2026年1月12日（月・祝）

観覧料：一般 / 450円、高校生 / 300円
中学生以下無料
※料金には常設展観覧料を含む。
各種減免規定あり。

主催：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館では、彫刻作品のほか、彫刻家手がけた素描や版画など、約900点に及ぶ平面作品を収蔵しています。本展では、その中から、中原悌二郎賞を受賞した作家による素描をはじめとする平面作品を紹介いたします。

会期：2025年9月12日（金）～
2026年1月12日（月・祝）
休館日：毎週月曜日
（月曜が祝日の場合は翌日）
観覧料：一般 / 450円、高校生 / 300円
中学生以下無料
※料金には常設展観覧料を含む。
各種減免規定あり。
主催：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館

旭川市彫刻美術館へのアクセス



- バス（旭川電気軌道バス）をご利用の場合
旭川駅前バスタッチ区4番のりばから
春光バスセンター行（5番80番522番）
いずれも「春光園前」下車（所要時間約25分）
- お車をご利用の場合
旭川駅前から約20分
道央自動車道 旭川鷹栖ICから約10分
※無料駐車場有り(7台)
- タクシーをご利用の場合
旭川駅前から2,110円程度

中原悌二郎記念
旭川市彫刻美術館

〒070-0875 旭川市春光5条7丁目
TEL 0166-46-6277 Fax 0166-46-6288
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/sculpture>